

## 令和元年度 神戸大学技術職員研修(集合研修)日程表

期間: 令和元年9月～令和2年3月

対象技術職員: 70名

2019.09.17

◆全体研修	9:00～ 9:20	9:20～ 9:30	9:30～ 10:00		10:10～ 11:10		11:20～ 12:20		13:20～ 14:20		14:30～ 15:20		15:30～ 17:10	
9月30日(月) 理学部2棟 Z201教室・Z202教室	受付	開講式 事務連絡	「講話」 学長	会場 準備	「講義1」 『放射性廃棄物の 地層処分問題について』 都市安全研究センター 講師 橋 伸也	会場 準備	「講義2」 『日本人の主食である お米の歴史について』 農学研究科 教授 石井 尊生	休憩	「講義3」 『ストレスとうつ病を 科学する』 医学研究科 教授 古屋敷 智之	会場 準備	「講義4」 『大学における安全衛生活 動と問題点の見つけ方』 安全衛生・環境管理統括室 安全衛生コーディネーター 柴田 信雄	会場 準備	「業務・技術報告」 工:2件、医、 海、農:各1件 (15分+5分)×5件 (※)	新人 紹介

(※) 工学系: 橘高康介「暑熱環境対策に関する研究の支援について」、芳田直征「業務内容紹介(混相流工学研究室)」、  
 医学系: 山田悟士「動物実験施設 業務報告」、海事系: 杉原直樹「総合水槽実験棟の紹介と利用予約システムの開発」、  
 農学系: 田中大輔「水稲「きぬむすめ」の 収量及び食味向上に向けた基肥一発肥料の選定」

◆分野別研修	コース番号	分野『テーマ』『場所』(講師/担当 等)	
9月24日(火)	①	工学分野【見学】『暮らしに役立つ技術を学ぶ』 「Panasonicミュージアム(松下幸之助歴史館)」「NEC Future Creation Hub KANSAI」(担当: 芳田直征、中辻竜也)	(工学研究科)
9月27日(金)	②	工学分野【実習】『プログラミング初学者向けmicro:bitを教材としたビジュアルプログラミング体験』 「工学研究科技術室 運用室」(講師: 松本香、吉田秀樹)	(工学研究科)
11月26日(火)	③	工学分野【講義等】『工学分野講義・技術発表等(第153回技術研究会)』「工学研究科」(担当: 工学研究科技術室 研修委員会)	(工学研究科)
9月26日(木)	④	医学分野【実習】『法医学教室の午前・午後』「医学研究科」(講師: 中川加奈子)	(医学研究科)
9月11日(水)	⑤	医学分野【施設見学】『医学の歴史と解剖学を学ぶ』「滋賀医科大学・大阪医科大」(担当: 薛 富義)	(医学研究科)
9月20日(金)	⑥	理学分野【施設見学】『IoT社会を支えるプラットフォームとインフラを学ぶ』 「株式会社 オプテージ, IBM Osaka Client Experience Center」(担当: 北内一行)	(理学研究科)
9月2日(月)	⑦	海事分野【施設見学】『防災を考える ～体験型施設の見学～』「津波・高潮ステーション/阿倍野防災センターあべのタスカル」 (1日コース)(担当: 杉原直樹、黒木克典)	(海事科学 研究科)
9月26日(木)	⑧	海事分野【実習】『沸騰伝熱実験』「深江キャンパス 熱工学実験棟」(講師: 小川宏樹) (半日コース)(担当: 黒木克典、杉原直樹)	(海事科学 研究科)
11～12月頃	⑨	農学分野【施設見学】『果樹系生産物の加工(仮)』(担当: 小間康史、技術職員)	(農学研究科)
11月頃	⑩	農学分野【施設見学】『生産農場見学』(担当: 渡邊優子、技術職員)	(農学研究科)
11月頃	⑪	農学分野【施設見学】『飼料業者および農家見学(仮)』(担当: 田中大輔、技術専門職員)	(農学研究科)
2月頃	⑫	農学分野【農学系集合研修】【講習・発表等】『内容未定』(担当: 富士松雅樹、技術専門職員)	(農学研究科)

(注) 1) 全体研修の受講は必修とします。 2) 技術職員(\*)は分野別研修を各コースから2日分選択とします。 3) 基本的に分野別研修は全学技術職員(\*)オープン化とします。 4) 閉講式は行いません。

(\*) 技術職員: 教室系技術職員(再雇用技術職員含む)

令和元年度 神戸大学技術職員研修 集合研修・分野別研修コース概要一覧

2019.09.17

コース番号 日程	(分野)『テーマ』 集合場所／実施場所 (受講者定員)	内容概要【担当講師】
① 9月24日(火)	(工)『暮らしに役立つ技術を学ぶ』 京阪電車 西三荘駅 ／「Panasonicミュージアム(松下幸之助歴史館)」 「NEC Future Creation Hub KANSAI」 (20名 担当除く)	《見学》 Panasonicミュージアム(松下幸之助歴史館)およびNEC Future Creation Hub KANSAIを見学する。Panasonicミュージアムでは、松下幸之助の高い志、それを受け継いだ後進の熱き思いによって生まれた数々の家電製品を見ながら、ものづくりのDNAを学ぶ。 また、NEC Future Creation Hub KANSAIでは、我々がより豊かな生活を送るための画像認識、音声認識等の最新技術を学ぶ。 【担当: 芳田直征 技術員、中辻竜也 技術員】
② 9月27日(金)	(工)『プログラミング初学者向けmicro:bitを教材とした ビジュアルプログラミング体験』 工学研究科技術室 運用室／同左 (5名 講師除く)	《実習》 近年、プログラミング学習の重要性が高まっている。プログラミングスキルを利用することによって、自分の仕事の効率を上げることが期待されている。そこで本研修では、ビジュアルプログラミングを行い、コンピュータやプログラミングの概念にもとづいた思考(プログラミング的思考)を学ぶことを目的とする。今回はイギリスの公共放送局であるBBCが中心となって開発した教育用の小型コンピュータボードであるBBC micro:bitを教材として用いる。本研修の対象はプログラミングの初学者またはビジュアルプログラミングに興味がある者とする。
③ 11/26(火)	(工)『工学分野講義・技術発表等(第153回技術研究会)』 自然科学総合研究科棟3号館 125演習室／同左 (50名 担当含む)	《講義》『自動運転を支えるモバイルネットワーク技術』 講師: 太田 能 教授 《技術職員による発表》 発表者: 市村和也 技術員、小西肇 技術員、山本大介 技術員、義澤康男 技術専門職員 【担当: 工学研究科技術室 研修委員会】
④ 9/26(木)	(医)『法医学教室の午前・午後』 医学研究科研究棟B棟3階第4実習室／同左 (12名 担当除く)	《実習》 法医解剖後に行う諸検査を紹介し、それらの中から簡易検査を中心とした実習を行う。 [中毒]青酸、農薬(パラコート)の証明。 [血痕]血痕検査(ルミノール反応、ロイコマラカイト緑法、ヘモクロモーゲン結晶検査法) その他 【担当: 中川加奈子 技術専門員】
⑤ 9/11(水)	(医)『医学の歴史と解剖学を学ぶ』 JR瀬田駅/ 午前: 滋賀医科大学 開放型基礎医学教育センター (大津市) 午後: 大阪医科大学 歴史資料館(高槻市) (15名 担当者含む)	《施設見学》 午前に滋賀医科大学のメディカルミュージアムを訪れ、基礎医学、特に解剖学・病理学教育に用いる模型や肉眼標本等さまざまな教育用資源を実際に目でみて手に取って触れ、人体の構造をあらためて学ぶ機会を得る。午後からは国の登録有形文化財となった大阪医科大学の歴史博物館に場所を変え、昭和5年に竣工したという歴史的建造物の巧妙さを堪能しながら館内に展示されている医学に関する歴史的資料や古典的な顕微鏡等を見学する。 【担当: 薛 富義 技術専門員】
⑥ 9/20(金)	(理)『IoT社会を支えるプラットフォームとインフラを学ぶ』 阪神電車 東鳴尾駅/ 午前: 株式会社オプテージ サービスオペレーションセンター(西宮市) 午後: IBM Osaka Client Experience Center(大阪市北区) (15名程度 講師除く)	《施設見学》 午前は、オプテージ(旧ケイ・オプティコム)のサービスオペレーションセンターを訪れ、ネットワークの運用状況を24時間365日体制で集中監視しているSOC(サービスオペレーションセンター)などを見学する。午後からは、日本IBM大阪事業所である「IBM Osaka Client Experience Center」を訪れ、IBMの最新IoT/AI Solutionなどの展示見学や説明を受ける。また、あわせてIBMにおけるSDGsへに対する取り組み(海洋汚染や食の安全など)の紹介や働き方改革を実現するオフィスとして新事業所の見学を予定している。 【担当: 北内一行 技術専門職員】

<p>⑦ 9/2(月)</p>	<p>(海)『防災を考える ～体験型施設の見学～』 午前 津波・高潮ステーション玄関前/同左施設内 午後 阿倍野防災センター入口前(あべのフォルサ 3F)/ 同左施設内 (15名 担当者含む)</p>	<p>《施設見学》 午前は大阪府立津波・高潮ステーションを、午後から大阪市立阿倍野防災センター(あべのタスカル)を見学し、各種災害発生時に自身や周りの人の身を守るために取るべき行動を体験的に学習することで、防災について考える機会とする。 大阪府立津波・高潮ステーション(大阪市西区江之子島2-1-64) 大阪市立阿倍野防災センターあべのタスカル(大阪市阿倍野区阿倍野筋3-13-23 あべのフォルサ 3F) 【担当:黒木克典 技術専門員、杉原直樹 技術員】</p>
<p>⑧ 9/26(木)</p>	<p>(海)『沸騰伝熱実験』 深江キャンパス 技術部センター/ 深江キャンパス 熱工学実験棟 (13名 担当者・講師含む)</p>	<p>《実習》 やかんに水を入れて加熱すると、底から「気泡」が発生する。これが「沸騰」と呼ばれる現象である。本実習では、飽和プール沸騰における熱伝達現象を観測する。気泡の発生の観察や、データ計測を行い、過熱度と熱流束から沸騰曲線を描き、沸騰熱伝達とバーンアウト現象について、実践を通じて理解を深める。【講師:小川宏樹 技術専門職員】 【担当:黒木克典 技術専門員、杉原直樹 技術員】</p>
<p>⑨ 11~12月頃</p>	<p>(農)『果樹系生産物の加工(仮)』 食資源センター/樽将本店(株)養父工場 (8名 内4名農学系参加予定 担当含む)</p>	<p>《施設見学》 果樹系ではイワテヤマナシを栽培しており、収穫果実は全量樽将本店(株)に出荷され、シロップやジャムとして加工利用されている。同社の加工施設を見学し、加工や商品についての知識を深めることで、ブドウなど他の果樹系生産物の加工利用の可能性を探る。 【担当:小間康史 技術職員】</p>
<p>⑩ 11月頃</p>	<p>(農)『生産農場見学』 食資源センター /イオン農場三木里脇農場、笠形オーガニックファーマーズ (8名 内4名農学系参加予定 担当含む)</p>	<p>《施設見学》 企業型農場と小規模地域型農場を見学することで、多様な農業生産について知見を広める。 【担当:渡邊優子 技術職員】</p>
<p>⑪ 11月頃</p>	<p>(農)『飼料業者および農家見学(予定)』 食資源センター /日本物産(株)、神戸付近の和牛農家 (7名 内5名農学系参加予定 担当含む)</p>	<p>《施設見学》 現在購入している乾草の貯蔵や情報を知ること。また当センター以外の和牛農家を見学し比較検討し知識を深める。 【担当:田中大輔 技術専門職員】</p>
<p>⑫ 2月頃</p>	<p>(農)『農学系集合研修』 農学研究科附属食資源教育研究センター 本館1F教室 (15名 担当含む)</p>	<p>《講習》 内容未定 【担当:富士松雅樹 技術専門職員】</p>

※(分野)工:工学分野、農:農学分野、医:医学分野、海:海事分野、理:理学分野 ※担当/講師の下線は、複数の担当/講師がいるコースでの担当代表者を示す。